



岩手くずまきワイン 新社名で更なる前進

葛巻高原食品加工株式会社は、6月27日に社名を「株式会社岩手くずまきワイン」に変更したことを記念して7月25日、「新社名発表記念パーティーくずまきワインの夕べ」を盛岡グランドホテルで開催。約220人が集いました。鈴木町長は「町の特産品がワインだと誇りを持っているものになった。さらに一歩ずつ前進していきたい」とあいさつ。会場では、10種類以上のくずまきワインと10市町村（宮古市、久慈市、遠野市、八幡平市、滝沢市、矢巾町、岩泉町、野田村、九戸村、一戸町）との地域連携ワインやジュースを提供し、参加者らはこだわりの味を心行くまで堪能しました。

新社名発表記念パーティーでくずまきワインを手に乾杯する参加者の皆さん



多彩な競技を楽しむ 町長寿スポーツ大会

町老人クラブ連合会（中村正治会長）は6月28日、社会体育館で第32回町長寿スポーツ大会を開催しました。觸澤副町長は「このスポーツ大会を通じて、さらに交流を深めながら健康と生きがいを高めて町の活性化を図ってほしい」とあいさつ。江刈チームの三澤正信さん（64歳・車門）の力強い宣誓の後、選手らは8種目の競技ではつらつと奮闘し、スポーツを楽しみました。熱戦の結果江刈チームが優勝し、10連覇を達成しました。

毎年恒例の競技「ボール送り」に参加し、はつらつと競技を楽しむ選手たち

大江裕さん歌謡ショー 力強い演歌の心堪能

7月9日、くずまき高原牧場の特別企画「大江裕歌謡ショー」は、もく・木ドームで昼と夜の2回行われ、入口には町内外から詰め掛けた開場を待ちわびる人の長い列ができました。昼の部を鑑賞した延足初雄さん（68歳・遠矢場）は「演歌が大好きなので、観に来るのを心待ちにしていました。声にパワーがあって最高のステージでした」と瞳を輝かせ大満足の様子。観覧に訪れた人は、大江さんの軽妙な語り口と張りのある心のこもった歌声に心を震わせ酔いしていました。



ステージを降りて一人一人と握手をし、心を通わせながら歌い上げる大江裕さん

日本の文化に触れる 小屋瀬中で能楽公演

小屋瀬中学校（佐久山明彦校長、生徒17人）は7月3日、同校体育館で能楽公演を開催。文化庁の「文化芸術による子どもの育成事業」として人間国宝・野村万作さんを中心とする狂言師のグループ「万作の会」による狂言が行われ、同校の生徒のほか地域住民ら約50人が鑑賞しました。公演の最後には、生徒たちと狂言「蝸牛」を共演。丸山啓人さん（3年）は「日本の伝統に触れたことを自分の財産にしたいです」と、お礼の言葉を述べました。



万作の会による狂言「盆山」を鑑賞する小屋瀬中の生徒と地域住民ら



7市町が親睦を深める 身障者スポーツ交流会

第46回岩手紫波地区身体障害者スポーツ交流会は7月6日、町社会体育館で開催され、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町の7市町、約150人の選手がスポーツを通じて交流を深めました。觸澤副町長は「多くのボランティアの皆さんにご協力いただき感謝します。選手、スタッフの皆さんの親睦を深めながら、誰もが生涯にわたりスポーツを楽しめる社会を目指してほしい」とあいさつ。競技の結果、雫石町が優勝し、葛巻町は3位に入賞しました。

マジックダーツの的に狙いを定めて投げたボールに注目する選手の皆さん



葛高70周年へ向け 今後の活動話し合う

葛巻高校（上柿剛校長、生徒137人）の同窓会総会は6月30日、総合センターで関係者ら約30人が出席し行われました。上家照男会長（64歳・田代）は「同窓会は、高校の運営が円滑に進むようにバックアップをしていくもの。ご協力をお願いします」とあいさつ。続いて、鈴木町長が「来年は70周年。更に情報発信しながら大きな一歩を踏み出す年となるよう期待します」と祝辞を述べました。総会では、在校生の活躍や70周年へ向けての取り組み内容などが報告されました。

「葛高バックアップの協力をお願いしたい」とあいさつする上家会長